



TSURU CITY

春号

2022 No.203

令和4年5月1日発行

# つる 都留市 議会議だより



春つらら 春風に誘われて  
第10回 「都留アルプス」フリーハイキング



▲10回を数える「フリーハイキング」議長激励の様子

定例会で決まったこと 他…2~3	各委員会の審査内容と結果…10~13
市長所信表明…………… 4	定例会議案議決結果…14~15
代表質問 ………………5~6	議会活動報告 …………… 16
会派構成 他…………… 7	議会日誌 他…………… 17
一般質問 他…………… 8~9	未来を紡ぐ~若者×議会~他…18

# 令和4年3月定例会 で決まったこと

## 条例改正（9件）

議第1号 都留市成年後見制度利用促進審議会条例制定の件

★成年後見制度の利用促進について調査審議します。

議第2号 都留市小規模企業・中小企業振興基本条例制定の件

※10ページ総務産業建設常任委員会「主な質疑内容」もあわせてご覧ください。

議第3号 都留市職員の勤務時間、休暇等に関する条例中改正の件

議第4号 都留市公告式条例中改正の件

★揭示場を一箇所（都留市役所）に集約します。

議第5号 都留市地域交流拠点施設条例中改正の件

都留市国民健康保険条例中改正の件

★全世帯の未就学児の均等割を5割軽減します。

議第7号 都留市消防団員等公務災害補償条例中改正の件

議第8号 都留市農村公園条例廃止の件

★行政財産としての田野倉・宿農村公園を廃止し、

今後は、田野倉自治会と使用貸借契約を結びます。

議第9号 都留市小、中学校給食会貸付基金条例廃止の件

当初予算（14件） ※詳細は12～13ページ「予算特別委員会」をご覧ください。

議第12号 令和4年度都留市一般会計予算

議第13号 令和4年度都留市国民健康保険事業特別会計予算

～21号

議第22号 令和4年度都留市水道事業会計予算

～25号

ほか8特別会計  
ほか3企業会計



## 補正予算（5件）

議第26号 令和3年度都留市一般会計補正予算（第12号）

《主な歳出の内容》 7億732万1千円を追加

●議会費 845万円を追加

情報ネットワーク・タブレット端末導入経費

●総務費 342万9千円を追加

社会保障・税番号制度のシステム改修にかかる費用など

●民生費 4千268万9千円を追加

障害者等自立支援給付事業における扶助費の増額など

●衛生費 772万円を追加

地域再生可能エネルギー導入目標計画の策定費用など

●農林水産業費 2千420万円を追加

県が実施する土砂崩壊防止施設の整備にかかる負担金など

●土木費 2千653万2千円を追加

老朽化した橋梁の長寿命化を図るために実施する橋梁整備費など

●教育費 4億5千473万9千円を追加

都留文科大学附属小学校校舎非構造部材等耐震改修工事にかかる費用及び公立大学法人都留文科大学運営基金への積立金など

●諸支出金 1億3千956万2千円を追加

公共施設整備基金への積立金など

議第27号 令和3年度都留市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

1億6千470万7千円を追加

国民健康保険財政調整基金積立金の増額など

議第28号 令和3年度都留市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）

3千万円を追加

要介護認定者が利用するサービス費の増加による増額など

議第29号 令和3年度都留市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

1千525万1千円を追加

山梨県後期高齢者医療広域連合に対する負担金の増額

議第30号 令和3年度都留市病院事業会計補正予算（第4号）

2千145万円を追加

除菌コート仕様のレントゲン装置の導入

議第33号 令和3年度都留市一般会計補正予算(第13号)

■22億7千879万1千円を追加

国の補正予算により措置された地方創生拠点整備交付金等の交付内示などを受け、必要となる費用を追加

《主な歳出の内容》

●総務費 10億5千352万7千円を追加

東桂地域コミュニティセンター建設事業費及び生涯活躍のまち・つる事業地域交流拠点(田原交流センター)第2期工事費分など

●大学費 12億2千526万4千円を追加

都留文科大学新棟整備事業第2期工事にかかる補助金

その他(3件)

議第10号 市道の路線の認定の件(大幡金井線)

議第11号 市道の路線の変更の件(大学周辺通り線支線13号、総合運動公園入口線)

議第31号 損害賠償の額の決定及び和解の件

人事案件(2件)

■教育委員会委員の任命について同意

議第32号 教育委員会委員の任命について同意を求める件

●教育委員会委員

○大幡 小笠原 幸夫 ○川棚 村上 憲司

■教育委員会教育長の任命について同意

議第34号 教育委員会教育長の任命について同意を求める件

●教育委員会教育長

○中津森 小林 正人



請願・陳情(2件)

議員提出意見書案第1号

「適格請求書等保存方式(インボイス制度)」について、シルバー人材センターの安定的な事業運営が可能となる適切な措置を講じるための意見書

議員提出意見書案第2号

新型コロナウイルス非接種者及び新型コロナウイルス感染症対策における差別・偏見・強制を防ぐ条例等の制定または対策に関する意見書

選挙

■富士・東部広域環境事務組合議会議員

3月7日の本会議において、富士・東部広域環境事務組合議会議員の選挙が行われ、指名推選により、次の方々が当選されました。

○中津森 国田 正己

○夏 狩 藤江 喜美子

決議

議員提出決議案第1号

ロシアによるウクライナ侵攻に抗議し、平和的解決を求める決議

3月定例会会期日程

◆2月24日 本会議

(開会)

◎会議録署名議員の指名

◎会期の決定

◎提出議案の市長説明並びに所信表明

◎議会運営委員会委員の選任の変更

◎議案審議

◎議案の委員会付託

◆3月7日 本会議  
◎富士・東部広域環境事務組合議会議員の選挙

◎代表質問

◆3月8日 本会議

◎一般質問

◆3月9日

総務産業建設常任委員会  
社会厚生常任委員会

◆3月11日

予算特別委員会

◆3月14日

予算特別委員会

◆3月15日

予算特別委員会

◆3月23日 本会議

(閉会)

◎委員長報告

◎議案審議

## 市長の所信表明



都留市まちづくり市民懇談会

## ○「都市計画マスタープランの改定」

本市の都市計画は、昭和29年の都市計画区域の決定に始まり、幾度かの変更等を行い、現在に至る。現行計画は、平成16年の策定から十数年が経過し、社会情勢や都市を取り巻く環境に変化が生じていることから、令和2年度に改定された「山梨県都市計画マスタープラン」との整合性を図る中で、本年度より改定に着手した。改定にあたっては、市民アンケートの実施とともに市民懇談会を立ち上げ多くの意見をいただいている。今後は、市民懇談会からいただく予定の市民意見書を踏まえ、「ひと集い学びあふれる生涯さらめきのまちつる」を実現させるため、市民に身近で実効性のある計画となるよう、令和4年度中の改定に向け取り組んでいく。

## ○「子育て支援」について

男性が育児休業を取得しやすい職場環境の整備を促すとともに、子育て世帯の仕事と育児の両立を支援するため、育児休業を取得する男性従業員及び市内に本社又は事業所を有する中小企業等に対し「育児休業取得促進奨励金」を交付する。本奨励金は、厚生労働省が実施する両立支援等助成金の出生児両立支援コースの対象となった市内企業等に対し、本市が奨励金を上乘せ支給することで国の制度と併わせて活用できるため、山梨労働

局と連携し、企業等への周知に努めていく。本制度の創設により、市内の企業と市が協働する中、子育てしやすい環境の創出による合計特殊出生率の向上、男性の育児参加によるジェンダー平等の推進、市内企業等の社会的評価の向上等を図っていく。

## ○「探学のあそびひろば事業」について

昨年8月より、豊田通商株式会社の有志社員が地域貢献活動いわゆる「プロボノ」として本市に参画し、教育分野の施策構築について提案いただいた内容を実現化するものである。事業内容は、子どもたちのあらゆる好奇心に応え、探究する力を育成する学びの環境を構築する「探究型学習」の場を創出するもので、市内の大学や民間企業等と連携し、プログラム構築や子どもたちに相対する人材の育成も含めて取り組むこととしている。また、事業推進にあたっては、地方創生推進交付金のほか、「企業版ふるさと納税人材派遣型制度」も活用する。今後、各主体が連携する中で、この学びの場を地域に根付かせ、子どもたちの無限の可能性を伸ばしていきたい。

## ○「市民大学事業」について

「多様な学びをとおした、心身ともに健康で豊かな暮らしの実現」のため、成人層向けに新たな学習プログラムとして「市民大学事業」を展開する。市民大学では、市内3大学等と本市で構成する「大学コンソーシアムつる」と連携し、大学等の教員を講師として迎え、各校の専門性を生かした質の高い学びを提供していく。これにより、子どもから大人まで、誰もが生涯にわたって学べる機会を創出していく。

## こども家庭庁創設に向けた本市の取り組みを問う



つる清流会 日向 美徳 議員

**問** こども家庭庁創設に向けた本市の取り組みを問う。

**答** 「こども家庭庁」の設置は、令和3年12月に策定された「こども政策の新たな推進体制に関する基本方針」に掲げられた基本理念に沿って、

常にこどもの利益を第一に考え、こどもに関する取り組み・政策を我が国社会の真ん中に据えた「こどもまんなか社会」の実現が期待されている。市としては、国、県などと連携する中、子育て支援施策等の一層の推進に努めたいと考えている。

**問** 「児童虐待、貧困、いじめ、不登校、高校中退、非行といった困難の種類や制度ごとの『縦割り』によって生じる弊害」と「教育、福祉、保健医療、雇用といった『縦割り』組織によって生じる弊害」に対する市の対応は。

**答** 「こども政策の新たな推進体制に関する基本方針」においては、こどもの抱える困難は、子ども・家庭・家庭内の関係性・環境といったさまざまな要因が複合的に重なり合い、いじめ・不登校・ひきこもり・非行といったさまざまな形態で表出するものであり、重層的な視点からのアプローチが必要とされている。また、課題が深刻化・複合化しており、単一分野の専門

性のみでは解決できないとの認識のもと、教育、福祉、保健、医療、雇用などに関係する機関や団体、多職種の専門家が密接にネットワークを形成し、協働しながら支援を行うことが必要とされている。

本市では、平成27年度に、福祉保健部に健康子育て課を設置し、児童福祉、母子保健、健康づくりの連携強化による子育て支援の充実を図っており、これは「こども家庭庁」の創設の意義と軌を一にするものと考えている。さらに本年度には、子育て世代に対する総合的相談支援を提供する「子育て世代包括支援センター」（子育てほっとステーション）の機能を担う「子育て包括支援室」を設置するとともに、子どもをめぐる問題を一元的に把握し、組織横断的な支援につなげる「子ども家庭総合支援拠点」の開設を見据え、「子ども家庭担当」を設置するなど、組織機構の見直しを行う中で、子どもを取り巻く課題等に対応している。

**問** 児童福祉法や要保護児童対策地域協議会の対象年齢が18歳未満であるなど、支援の対象年齢を区切っていることで支援が途切れがちになる『年齢の壁』に対する市の対応は。

**答** 「年齢の壁」は、法令等で規定さ

れるものであり、大きな課題と認識しているが、要保護児童対策地域協議会では、18歳の誕生日を迎えた後においても、ケースに応じて支援を行っている。いずれにしても、子どもを取り巻く課題は、多様化、複雑化しており、一つの部署で解決することが困難となっていることから、社会福祉法の改正により創設された「重層的支援体制」を意識し、複数の部署、機関等が関わることを前提とした相談体制の構築に取り組むなど、それぞれの子どもや若者の状況に応じ、子どもや若者が円滑な社会生活を送ることができるよう、支援していく。



健康子育て課 窓口の様子



ビジョン21 小俣 武議員

適正規模統合を問う

**問** 第6波が猛威をふるい先行きの見えない状況における旭小学校の1年計画での統廃合について。

**答** 統合に向けた交流事業等は感染対策を講じながら実施し、令和5年4月の統合に向け準備を進めていく。

**問** 児童への心のケア・統合前の交流等について。

**答** 小さな学校の児童が、新たな環境にすんなりと馴染むことができるようにすることが最大の課題と考え、交流を行っていく。なお、統合時には、旭小学校に勤務する教員も、可能な限り一緒に禾生第一小学校へ異動するなどし、統合後に気軽に相談できるような体制を準備していく。

**問** 特区を導入している学校が適正規模要件となった際の対応は。

**答** 都留文科大附属小学校は、英語特区である同校で学ぶことを希望し入学した児童に不利益が生じることが無いよう、統合の時期を未定とした。しかし、1学級10人未満の状況が継続すれば、早期に適正化を検討する必要があると考えている。

**問** 少子化の進捗と今後の学校編成について。

**答** 学年1クラスの学校は、小中学校適正化基本スキームにおいて今後、統合の検討に入る可能性もあるが、

少子化に対する適切な施策を講じつつ、状況に応じて小中学校の適正化を図っていく。

総合的まちづくりを問う

**問** 勝山城跡の将来について。

**答** 勝山城跡を中心とした谷村城下町を後世に引き継いでいくためには、市民と共に力を合わせて取り組んでいくことが重要であることから、本年2月に市民ウェブアンケート調査を実施した。今後は、得られた意見を踏まえ、ICTを活用したデジタルプラットフォームの構築など、勝山城跡の文化財としての価値を保持しつつ、観光資源として最大限に活用した事業を積極的に展開し、観光客誘致とシビックプライドの醸成を図っていく。

**問** 市中心部の再興と今後の対策は。

**答** 現在、空き家対策や観光施策により、市街地の活性化と城下町の景観整備を図っているが、これらに加え「シビックプライドの醸成」を目的とした新しい補助制度等の必要性も検討していく。さらに、新しい「都市計画マスタープラン」の見直し作業においても、城下町という魅力を最大限に活

かしたまちづくりを念頭に置きながら、市民の皆様の意見を伺う中で調査・研究し、中心市街地の魅力向上を図り人口減少に負けない活力あるまちづくりを進めていく。

消防指令センター及び消防団を問う

**問** 消防指令センターの拠点について。

**答** 現時点では、このまま本市において運用していくことが妥当であると考えているが、「山梨県共同指令センター」のあり方に関する懇談会において、県内の消防指令センターの一元化を進めるための調査・検討をしており、市としても、望ましい将来像と実現する上での課題を整理した上で、そのあり方について、検討をしていきたい。

**問** 将来に向けての消防団員の構成と再構築について。

**答** 機能別消防団員制度を導入したことにより、当面の間は既存分団の枠組みでの組織編成を考えているが、今後、現行の体制が困難となることが見込まれた場合には、消防団員の活動しやすい環境整備に向けた検討を行っていく。

## 傍聴席

## の 声

自治体は何を考え、何を行っているのかを知る機会として議会は最適だと思った。今後議会を見に行くときには、その自治体の取り組みをより把握してから来ると、より理解が深まると思う。(S・Y)

初めて議会を傍聴したが、かなり突っ込んだ内容、質疑が行われ大変興味深く傍聴することが出来た。大学関係のこと等、多岐に渡る分野の話が聞けて大変参考になった。

(R・U)

## 議会を傍聴しませんか?

次回の定例会は、**6月2日**開会予定です。



## 会派構成



●令和3年12月24日現在

### 創明会

代表	小澤 眞	議員
	藤本 明久	議員
	小林 健太	議員
	小俣 哲夫	議員

### ビジョン21

代表	国田 正己	議員
	小俣 武	議員
	奥秋 保	議員

### 木曜クラブ

代表	山本 美正	議員
	小俣 義之	議員
	鈴木 孝昌	議員

### つる清流会

代表	日向 美德	議員
	谷垣 喜一	議員
	山口 一裕	議員

### 新政つる

代表	天野 利夫	議員
	藤江喜美子	議員
	志村 武彦	議員

## 複合型居住プロジェクトを問う



小林 健太 議員

**問** 本プロジェクト全体での経済効果、負担を鑑みた中での将来的な展望とリスクに関して伺う。

**答** 市の負担額は、国の交付金などを除き、令和元年度までで1億7千343万円を支出し、令和2年度から令和4年度までに4億7千500万円前後を見込んでいます。この他、区域外の道路整備で4千200万円の合計7億円前後となる。

**問** 施設について。

**答** 子育て支援スペースは、子供と親の居場所として地域子育て支援拠点事業及び一時預かり事業を実施予定

である。

また、コワーキングスペースは、ICTを柱とした『クラウドソーサー』の業務を受ける場所として、また『ハッカソン』など今までにない形態のイベント開催の場所やデジタル田園都市構想の受け皿としても機能させていきたい。

**問** 経済効果の見込みは。

**答** サ高住では年間180万円×入居者数の合計が、また、このほかに運営法人の法人税、施設の固定資産税、土地の借地代、居住者の住民税なども見込まれる。

コワーキングスペースではイベント開催などで継続的な賑わいを作り出すことにより、このエリアに限らず、周辺地域の活性化と経済的效果を生み出す仕組みづくりに取り組んでいる。

**問** 楽山区全体でのビジョンは。

**答** 複合型プロジェクトと既存の大学や文化、スポーツ施設に加え大型公園を整備することによって多くの人が集う一大拠点となる。訪れた人がワクワクできるエリアとして整備を進めていく。

◆全世代の方々がとりあえず行く場所となり得るよう今後も期待したい。

## 若年がん患者の在宅療養支援と今後の展望を問う



山本 美正 議員

**問** 本市では、若年がん患者の把握をしているのか。

**答** 「全国がん登録都道府県版標準集計表」により統計的に一定程度把握することはできるが、市町村ごとの年代別罹患データは10人未満の人数が秘匿とされていることから、若年がん患者の正確な人数や患者個人を把握することは困難である。

**問** 若い年代層ががんになってしまった場合の相談窓口について。

**答** 県が「山梨県がん患者サポートセンター」を設置し、医師や保健師、がん患者等を支援するピアサポーター

等が相談に応じている。また、がん診療連携拠点病院に設置されている「がん相談支援センター」では、がんの治療及びケアの分野の認定看護師が相談に応じ、適切な情報提供や支援をしている。市では特に専門相談窓口は設けていないが、健康子育て課、健康づくり担当において、保健師及び管理栄養士が相談を受け、関係部署と連携を図る中で、必要に応じて専門的な相談や支援に繋げている。

**問** 若年がん患者への在宅療養について、今後の展望は。

**答** 国では思春期から30歳代までの、

いわゆるAYA世代のがん患者に対する緩和ケア提供体制の整備や在宅療養環境の整備等に必要な方策を検討することとしており、市としても、若年がん患者の方が、住み慣れた自宅で自分らしく安心して日常生活を送れる環境づくりに向け、今後、若年がん患者の療養生活を支援するための方策について、調査・研究を進めたい。



## デジタル田園都市構想に関する 本市の取り組み を問う

谷垣 喜一 議員



## 予算編成と財政健全化を 問う

鈴木 孝昌 議員



**問**

本市の現状と取り組みは。

**■ デジタル市役所・自治体  
DX推進事業を問う**

**問** 安心して学びが継続できるように各家庭の状況に配慮した対応は。

**答** 令和3年度に、1人1台端末の環境を整え、取り組みを進めている。現在、タブレット端末の持ち帰りを本格実施するため、課題や運用方法の洗い出しを行っている段階だが、課題解決を図る中、オンライン授業の実施に向けた対応を検討していく。

**問** 新年度当初予算編成での3期目の公約の具体化について。

**答** 昨年11月の市長選挙時にお示した公約は、これまでの2期8年の取り組みとその経過・検証を背景に、市民の皆様の声を伺う中で形作ったものである。この市民の皆様とのお約束である選挙公約を実現すべく、4つの柱に基づき、即時・即効性を重視し、その取り組みの裏付けとなる新年度予算を編成した。これから各事業を速やかに具体化していくことで、市民の皆様の暮らしやすい、快適なまちづくりを実現していく。

**答**

開催してほしい。

**問** スマートフォンの活用が重要になる。特に高齢者のスマホ教室や詐欺に合わないためのスマホ教室を

**答** 国の方針を踏まえ、「デジタル市役所」の実現に向け取り組んでいる。市民サービスとしては、証明書発行手数料のキャッシュレス化、体育施設の利用申請事務等のオンライン化を実現し、3月7日からは、マイナンバーカードを利用した住民票の写しや印鑑登録証明書のコンビニ交付を開始した。

**問** 財政健全化への取り組みは。

**答** 健全な財政運営を確立していくことは、あらゆる政策を推進していくための重要な基盤になるものと考えている。令和4年度当初予算は、152億9千600万円と過去最大の予算額ではあるが、国、県の補助制度等の有効活用による市負担分の抑制やふるさと納税寄附金などの活用により一般財源が確保されたことから、財政調整基金の繰入額を抑制した予算とすることができた。また、「リーディング・プロジェクト」に基づいた事業を重点的に計上した上でも、臨時財政対

取り組みを実施していく。

**訪問型産後支援の充実を問う**

**問** 産後ドゥーラの人材育成のための支援の拡大について。

**答** 産後ドゥーラは、子育てしやすいまちづくりを推進する上で重要な存在であり、また、資格取得に要する費用の負担が大きいことも認識している。既存の支援事業を、より妊婦や産後の母子に寄り添った支援となるよう質の向上に努める中、先進的事業として今後の参考としていく。

策債を含む市債の借入額の縮減が図られるなど、財政の健全性・持続可能性を確保した予算編成となっている。なお、今回の当初予算は、国が「16ヵ月予算」の考え方をもち、令和3年度補正予算を編成したことを受け、本市も国の経済対策に呼応した、令和3年度補正予算と令和4年度当初予算を一体で編成した予算となっている。



委員長：山口 一裕 副委員長：志村 武彦  
委員：小俣 義之 谷垣 喜一 藤本 明久 小澤 真 奥秋 保 日向 美徳

付託された議案 10 件(条例 6 件、補正予算 1 件、その他 2 件、請願 1 件)について、慎重に審査した結果、付託議案の全てを原案可決としました。

## ■審査した議案(付託議案)

- ・ 議第 2 号 都留市小規模企業・中小企業振興基本条例制定の件
- ・ 議第 3 号 都留市職員の勤務時間、休暇等に関する条例中改正の件
- ・ 議第 4 号 都留市公告式条例中改正の件
- ・ 議第 5 号 都留市地域交流拠点施設条例中改正の件
- ・ 議第 7 号 都留市消防団員等公務災害補償条例中改正の件
- ・ 議第 8 号 都留市農村公園条例廃止の件
- ・ 議第 10 号 市道の路線の認定の件

- ・ 議第 11 号 市道の路線の変更の件
- ・ 議第 26 号 令和 3 年度都留市一般会計補正予算(第 12 号)



委員会の様子

※議第 26 号は、それぞれの常任委員会で所管する補正予算案を分けて審査します。

## 主な質疑内容

■ 議第 2 号 都留市小規模企業・中小企業振興基本条例制定の件

**問** 県内市町村の制定状況は？

**答** 令和 4 年 2 月 28 日現在、10 市 8 町 2 村の合計 20 市町村が制定済み。

**問** 制定にあたっての効果やねらいは？

**答** 中小企業振興の目的や基本方針・基本的施策を明確にし、計画や施策等に反映することで、中小企業に対してより効果的な支援を行うことが出来る。また、中小企業の努力や大企業、市民の役割などを明確にすることで、地域が一体となって成長発展に取り組むことができる。

**問** SDGs の観点における、持続可能なまちづくりについての考えは？

**答** SDGs の概念などを取り入れながら今後検討していく。

■ 議第 10 号 市道の路線認定の件

**問** 大幡金井線の路線認定において、山梨県からの移管に伴う条件工事はどのようなことを県に要求して、どのようなところが完了したのか？

**答** 路側溝の設置や路側壁の修繕、また橋梁整備である。

**問** 一部側溝がまだ整備されていないと認識しているが、完了ということか？

**答** 平成 13 年当時、市としても当然要望は出しているが、県もできることでないことがあり、両者で協議し同意を得られた箇所は全て終了した。

**問** 県と同意が得られなかった箇所は今回はしていないのか。また、今後は市が対応するのか。

**答** 平成 13 年当時の条件工事箇所になる。今後は市が管理していく。

# 社会厚生

# 常任委員会

3月9日  
午後1時30分から

委員長：山本 美正 副委員長：鈴木 孝昌  
委員：小俣 武 国田 正己 藤江喜美子 天野 利夫 小林 健太 小俣 哲夫

付託された議案9件(条例3件、補正予算1件、事業会計補正予算4件、請願1件)について、慎重に審査した結果、付託議案の全てを原案可決としました。

### 審査した議案(付託議案)

- ・議第1号 都留市成年後見制度利用促進審議会条例制定の件
- ・議第6号 都留市国民健康保険税条例中改正の件
- ・議第9号 都留市小、中学校給食会貸付基金条例廃止の件
- ・議第26号 令和3年度都留市一般会計補正予算(第12号)
- ・議第27号 令和3年度都留市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
- ・議第28号 令和3年度都留市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)

- ・議第29号 令和3年度都留市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- ・議第30号 令和3年度都留市病院事業会計補正予算(第4号)



委員会の様子

※議第26号は、それぞれの常任委員会で所管する補正予算案を分けて審査します。

### 主な質疑内容

■議第1号 都留市成年後見制度利用促進審議会条例制定の件

**問** 審議会委員10人はどのような方に委嘱するのか?

**答** 第3条第2項第1号から第5号の各号に掲げる者の中から委嘱する。

※第1号、第3号では、法律、医療又は福祉、成年後見制度に関し識見を有する方を、第4号では、関係行政機関の職員を、第5号では、その他市長が必要と認めた者を規定。

**問** 委員に欠員が生じた場合は、補欠の委員を委嘱するとあるが、欠員となった方と同等の要件を持つ方を委嘱をするのか?

**答** 欠員となった委員と同じ号が掲げる条件に基づき委嘱する。



## 委員会付託とは？

議会の議決を必要とする案件について、議会の議決に先立って詳しく検討をするために、所管の常任委員会等に審査を委託することを言います。

議会の  
豆知識

# 予 算

## 特別委員会

3月11日・14・15日  
午前10時から

委員長：日向 美德 副委員長：小林 健太  
委員：小俣 武 国田 正己 谷垣 喜一 鈴木 孝昌 藤江 喜美子 小澤 眞 山本 美正  
天野 利夫 志村 武彦 小俣 哲夫 山口 一裕

付託された予算審査14件について、慎重に審査した結果、全てを原案どおり可決しました。

### ■ 審査した議案 (付託議案)

- ・ 議第12号 令和4年度 都留市各会計予算  
～議第21号
- ・ 議第22号 令和4年度 都留市水道事業会計予算
- ・ 議第23号 令和4年度 都留市簡易水道事業会計予算
- ・ 議第24号 令和4年度 都留市下水道事業会計予算
- ・ 議第25号 令和4年度 都留市病院事業会計予算



委員会の様子

## 令和4年度 当初予算の概要

第6次長期総合計画の基本構想に掲げた将来像、「ひと集い 学びあふれる 生涯きらめきのまち つる」の実現に向けた、「まちづくりの6つの方向」に示される具体的施策及び「リーディング・プロジェクト」に基づいた事業が重点的に盛り込まれ、また、国、県の補助制度等の有効活用による市負担分の抑制、市債の借入額の減、ふるさと納税寄附金などの活用による財政調整基金の繰入額の抑制など市制開始以来、最大の予算額ではあるものの、財政の健全性・持続可能性を確保した予算となっています。

- I 創ります！しごととくらしの充実したまち（産業・基盤分野）
- II 育みます！優しさと元気のまち（福祉・子育て・健康分野）
- III 輝かせます！学びあふれる つるのまち（教育分野）
- IV 繋ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち（生活・環境分野）
- V 紡ぎます！人と人のつながりのまち（安全・安心、コミュニティ分野）
- VI 実行します！新しいステージへ（行財政分野）

### ●リーディング・プロジェクト●

生涯活躍のまち・つる事業の推進

心豊かに暮らせるきらめきのまちづくり

道の駅つるを中心とした地域活性化

安全・安心のまち「セーフコミュニティ」の推進

「教育首都つる」のさらなる発展

令和4年度 当初予算

一般会計	152億9,600万円 (前年度比6.5%増)
9 特別会計	67億9,978万2,000円 (前年度比8.6%増)
4 企業会計	68億1,727万7,000円 (前年度比5.1%増)

**総予算額** 289億1,305万9,000円 (前年度比 6.7%増)

主な質疑内容

■第12号 令和4年度一般会計予算の件

〔政策推進費〕

**問** SDGs 推進に関する調査委託の委託先と業務内容は。

**答** 委託先は、入札等を経て今後決定していく。業務内容は、市内中小企業等の取り組みがSDGsに繋がっているかを詳細に調査し、企業活動とターゲットとの結びつけを行い、事業の推進を図るため実施する。

〔消費生活相談事業〕

**問** 特殊詐欺被害防止対策機器設置費補助金の内容は。

**答** これまで同様の補助を行う。(補助率 3/4、上限2万円)

◆特殊詐欺が増えている。事業の積極的な周知活動をお願いする。

〔地域公共交通対策費〕

**問** 生活バス路線維持費補助金の増額理由は。

**答** コロナの影響により、ここ2年利用者が大幅に減っている。今後もコロナの

先行きは不透明であり、回復には結び付かないことから現状に合わせて計上をした。

〔保育支援費〕

**問** 保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業の内容は。

**答** 令和4年2月から9月までの処遇改善を予定している。10月以降は既存の子ども子育て支援教育・保育給付費で賄っていく。

◆保育士安定確保のため、しつかりとした報酬の準備をお願いする。

〔有害鳥獣対策事業〕

**問** 電気柵設置後の管理方法について。

**答** 設置後の維持管理は、国の制度を有効的に活用しながら実施していきたい。

〔市単河川改修事業〕

**問** 災害対策としての、水門遠隔監視システムの今後の考えは。

**答** 災害の未然防止や職員の働き方改革の面からも効果の大きい事業であるため、今後も積極的に進めていきたい。

〔学校給食運営事業〕

**問** 学校給食公会計化による教頭職の労務縮減に伴う、余剰時間の活用についての市の考えは。

**答** 教頭職は業務が多いため勤務時間の縮減がされるものと考えているが、学校経営の中心となり全体を見回した中で活動をしていただきたい。

◆教職員は実際の教育活動のほか、多くの業務があり多忙である。子どもたちの教育のためにも教職員に対するケアに力を入れて欲しい。

〔文化財保護事業〕

**問** クラウドファンディング型ふるさと納税を利用した文化財保護について。

**答** 色々な形での財源確保という中で、一つの方策である。一般的に予算化が難しい事業であっても、広く応援を募る中で事業を推進することができると考えているため、今後検討していく。



# 3月定例会議決結果

区分	議案等名	議員名	議決結果	山口	小俣	志村	小林	日向	天野	奥秋	山本	小澤	藤江	藤本	鈴木	谷垣	国田	小俣	小俣
				一裕	哲夫	武彦	健太	美徳	利夫	保	美正	眞	喜美子	明久	孝昌	喜一	正己	義之	武
市長提出	議第1号 都留市成年後見制度利用促進審議会条例制定の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第2号 都留市小規模企業・中小企業振興基本条例制定の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第3号 都留市職員の勤務時間、休暇等に関する条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第4号 都留市公告式条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第5号 都留市地域交流拠点施設条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第6号 都留市国民健康保険税条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第7号 都留市消防団員等公務災害補償条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第8号 都留市農村公園条例廃止の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第9号 都留市小、中学校給食会貸付基金条例廃止の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第10号 市道の路線の認定の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第11号 市道の路線の変更の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第12号 令和4年度都留市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第13号 令和4年度都留市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第14号 令和4年度都留市介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第15号 令和4年度都留市介護保険サービス事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第16号 令和4年度都留市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第17号 令和4年度都留市桑代沢外17恩賜林保護財産区管理会特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第18号 令和4年度都留市水頭外3恩賜林保護財産区管理会特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第19号 令和4年度都留市濁り沢外18恩賜林保護財産区管理会特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第20号 令和4年度都留市板ヶ沢外7恩賜林保護財産区管理会特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第21号 令和4年度都留市盛里財産区特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第22号 令和4年度都留市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ×は反対 ※議長は採決に加わりません。

区分	議案等名	議員名	議決結果	山口	小俣	志村	小林	日向	天野	奥秋	山本	小澤	藤江喜美子	藤本	鈴木	谷垣	国田	小俣	小俣	
				一裕	哲夫	武彦	健太	美徳	利夫	保	美正	眞	明久	孝昌	喜一	正己	義之	武		
市長提出	議第23号 令和4年度都留市簡易水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第24号 令和4年度都留市下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第25号 令和4年度都留市病院事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第26号 令和3年度都留市一般会計補正予算(第12号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第27号 令和3年度都留市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第28号 令和3年度都留市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第29号 令和3年度都留市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第30号 令和3年度都留市病院事業会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第31号 損害賠償の額の決定及び和解の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第32号 教育委員会委員の任命について同意を求める件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第33号 令和3年度都留市一般会計補正予算(第13号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第34号 教育委員会教育長の任命について同意を求める件	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出	請願第1号 「適格請求書等保存方式(インボイス制度)」について、シルバー人材センター事業に及ぼす影響が極めて大きいことから、安定的な事業運営が可能となるよう適切な措置を講じるための請願書	採決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	請願第2号 新型コロナワクチン非接種者及び新型コロナ感染対策における差別・偏見・強制を防ぐ条例等の制定または対策に関する請願書	採決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員提出決議案第1号 ロシアによるウクライナ侵攻に抗議し、平和的解決を求める決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員提出意見書案第1号 「適格請求書等保存方式(インボイス制度)」について、シルバー人材センターの安定的な事業運営が可能となる適切な措置を講じるための意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員提出意見書案第2号 新型コロナワクチン非接種者及び新型コロナ感染対策における差別・偏見・強制を防ぐ条例等の制定または対策に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ×は反対 ※議長は採決に加わりません。

## ○山梨県後期高齢者医療広域連合議会

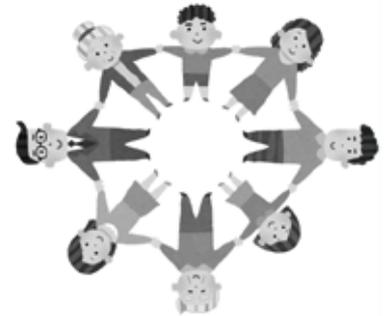
### ■令和3年 第2回定例会

議長選挙により、大月市選出の藤本 <sup>ふじもと</sup> 実 <sup>みのる</sup> 議員が選出された。

令和2年度一般会計及び特別会計決算認定、令和3年度一般会計及び特別会計補正予算が可決され、また、副広域連合長及び監査委員の選任も行われた。

### ■令和4年 第1回定例会

議案は6議案が上程され、窓口2割負担について一般質問も行われた。会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例及び後期高齢者医療保険料の見直しに伴う後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例が可決され、続いて、令和3年度一般会計及び特別会計補正予算、令和4年度一般会計予算及び特別会計予算が可決された。



国では、制度の安定に資する目的で、現役世代の負担緩和を含め、後期高齢者の窓口負担2割を新設し、本年10月から施行する見直しがなされたため、国の動向を見ながら今後も注視していく。

## ○大月都留広域事務組合

### ■ごみ処理施設

富士・東部地域の12市町村において、ごみ処理施設をひとつに集約し新たに西桂地区に新施設を建設することで合意し、本年2月1日に新たな一部事務組合である富士・東部広域環境事務組合が設立された。現在のところ令和14年4月とされている新施設の供用開始までの間、安全なごみ処理を確保するとともに、有効な跡地利用策を検討していく。



### ■し尿処理施設

昭和42年7月の設置から50年以上が経過し、その間、地元田野倉地区の皆様のご理解・ご協力の下、安定的な処理に取り組んできた。

令和2年度からは、新たなし尿処理施設の建設に向けて、検討・協議を重ねてきたが、施設を建設するには多額の費用が必要とされるため、この軽減のため、大月市が中心となり、上野原市へ参画を提案したところ、上野原市から共同処理する意向が確認され、本年1月31日に、3市で新たなし尿処理施設を1施設に集約し共同処理する「し尿処理施設広域化・共同化基本合意書」が締結された。

今後は、多角的な処理方法等を含め、将来に渡り最善の方法に向け必要な協議を行い、し尿処理施設広域化・共同化が実現できるよう協力していく。

## ○特別委員会

### ■リニア観光振興特別委員会

令和3年7月28日に委員会を開き、山梨県リニア未来創造・推進課より職員を招いて、「リニアやまなしビジョン」の説明を受け、リニア新駅を含む質問や要望等の意見交換を行った。また、令和4年3月8日には第2回委員会を開き、委員会内で県リニア局との意見交換を実施する方向性が決定された。

# ○議員勉強会

## ■令和4年3月17日 議員勉強会を実施しました

「映画[典座～TENZO]」からSDGsを考える!～誰一人取り残さない社会に向けて～」と題し、議員勉強会を開催しました。講師には、市内で地域食堂(子ども食堂)や未来の寺子屋などの活動を通して、人やものが循環して結びつく地域の居場所づくりを实践されている河口智賢さんをお招きし、「ともに生きる地域社会」の創出について講演をいただきました。



### 議 会 日 誌

#### 1月

- 4日(火) 仕事始め式/議会だより編集委員会  
新年互礼会
- 9日(日) 第68回都留市成人式式典
- 17日(月) 議会だより編集委員会/会派代表者会議
- 20日(木) 会派代表者会議/議会改革特別委員会
- 24日(月) 関東市議会議長会 第2回支部長会議  
(オンライン会議)



#### 2月

- 2日(水) 全国市議会議長会第226回理事会・第  
112回評議委員会合同会議(書面会議)
- 10日(木) 第48回全国高速自動車道市議会協議会  
定期総会(書面会議)
- 17日(木) 山梨県後期高齢者医療広域連合議会  
令和4年第1回定例会
- 18日(金) 大月都留広域事務組合議会 3月定例会
- 20日(日) 第82回山日YBS席書き大会表彰式
- 21日(月) 下水道運営委員会/水道運営委員会
- 22日(火) 議会運営委員会/全員協議会



- 24日(木) 会派代表会議/3月定例会開会
- 25日(金) 第40回都留市社会福祉大会表彰式
- 28日(月) 会派代表会議

#### 3月

- 7日(月) 全員協議会/代表質問
- 8日(火) 一般質問/リニア観光振興特別委員会
- 9日(水) 総務産業建設常任委員会/社会厚生常  
任委員会
- 11日(金) 予算特別委員会
- 14日(月) 予算特別委員会
- 15日(火) 予算特別委員会
- 17日(木) 議員勉強会
- 19日(土) はつらつ鶴寿大学卒業式
- 22日(火) 都留文科大学卒業式・学位授与式
- 23日(水) 議会運営委員会/全員協議会/3月定例  
会閉会/議会改革特別委員会/会派代  
表者会議
- 28日(月) 山梨県市町村振興協会 評議員会
- 29日(火) 富士・東部広域環境事務組合議会 本会議
- 30日(水) 第6回都留市セーフコミュニティ推進協議会



## 各会議等における議員の欠席日数状況報告

(R3.4月~R4.3月)

	山口一裕	小俣哲夫	志村武彦	小林健太	日向美徳	天野利夫	奥秋保	山本美正	小澤真	藤江喜美子	藤本明久	鈴木孝昌	谷垣喜一	国田正己	小俣義之	小俣武
本 会 議	3	—	—	—	—	—	—	1	—	3	—	—	—	—	—	—
常 任 委 員 会	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
特 別 委 員 会	1	—	—	—	1	—	—	1	—	1	—	—	—	—	1	—
全 員 協 議 会	2	—	—	—	—	—	—	2	—	1	—	—	—	1	—	—
議 員 研 修	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—



# 未来を紡ぐ 若者×議会

～若者と議会で織りなすこれからの都留市～



健康科学大学  
看護学部看護学科  
2022年3月卒業  
井上 瑞月さん

## 都留市に望むこと

私は小学生の頃から都留市に住んでいます。都留市には歴史的な文化財や富士の湧水、四季折々の美しい自然など多くの宝があります。また、秋には八朔祭りが開かれ大名行列や煙びやかな八朔屋台を見ることができます。近年ではコロナ禍に伴い開催中止が続いていますが、このような行事などをきっかけに県外からの学生や地域住民が交流を深めると共に都留市の魅力を感じてくれると嬉しいです。そして、この先も都留市の歴史や文化、豊かな自然が守られ、より活気溢れる街になることを願っています。



健康科学大学  
看護学部看護学科  
3年生  
佐藤 卓磨さん

## これからの都留市をより良い街へ

都留市は、地域の方々がとても温かいと感じます。しかし、市の取り組みにおいて高齢者を対象としたものが多く、一方で若者を対象としたものは比較的少ないように思います。都留市をより良い街にするために、若者を対象とした取り組みに注力することが必要ではないかと考えます。

高齢者と若者双方に配慮した取り組みを充実させていくことで都留市はさらに魅力的な街になると思います。

### ●表紙の説明

「都留アルプス」は、都留アルプス会と都留市で協議し、調査と整備を重ね自然遊歩道を再興したものです。日本トレッキング協会認定トレイルでもある「都留アルプス」を散策して、パノラマ展望台や水道橋「ピーヤ」など都留の隠れた絶景を楽しんでみませんか？フリーハイキングイベントは、年に2回開催しています。



## 次期定例会及び請願提出について

### 6月定例会日程（予定）

- 開 会 6月 2日(木)
- 代表質問 6月13日(月)
- 一般質問 6月14日(火)
- 閉 会 6月17日(金)

請願提出締切日（予定）●5月30日（月）

※定例会日程は、決定次第、市ホームページにてお知らせいたします。



ちよっとした日常の「小さな親切」が大切ではないかと思つています。「小さな親切」といつても、重いものを持つていられる方がいたら助けたり、乗り物で席を譲ったりと千差万別です。

「情けは人のためならず」という諺がありますが、人に情をかけるのは、その人のためばかりではないという意味です。人は、いつどのように境遇が変わるかわからず、「今日は人の身、あすはわが身」です。また、人にかけた情がいつか巡り巡つて、自分が情を受けることだってあるでしょう。

新型コロナウイルスの影響により、人とのつながりが希薄化しているように感じますが、今だからこで、一人ひとりのちよっとした優しさが、やがて地域社会を明るくし、潤いと輝きを生み、まち全体を豊かにしてくれるとそう信じてやみません。

新年度が始まりました。市民の皆様にとつて笑顔あふれる年となりますことを、ご祈念申し上げます。

編集委員 藤本 明久

委員	山口 一裕
委員	奥秋 明久
委員	藤本 明久
副委員長	山本 美正
委員長	小俣 武

議会だより編集委員会